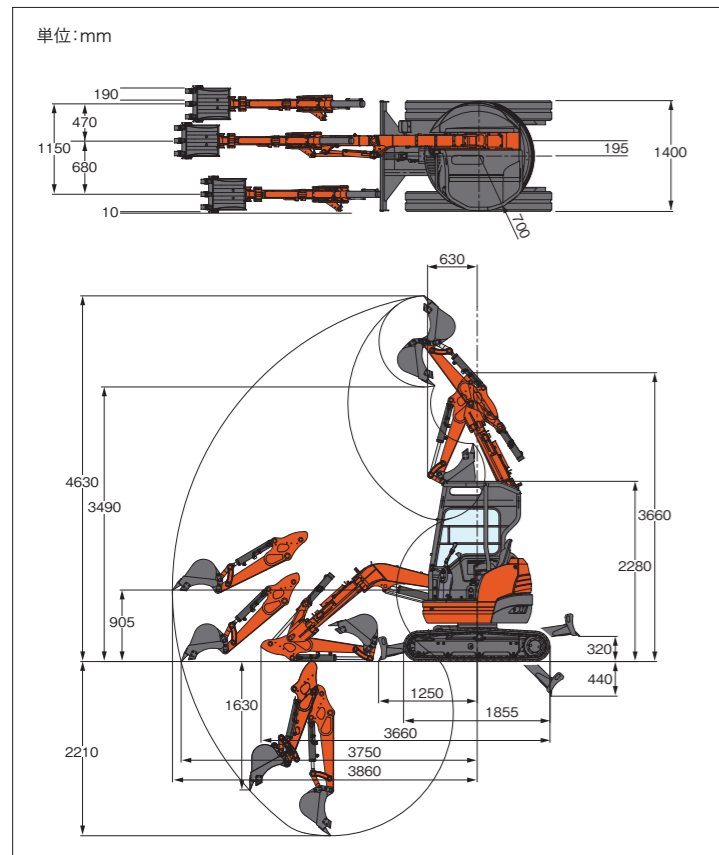


■ 作業範囲図



■ 吊り図



■ アタッチメント&オプション一覧表 ※納期など詳細は販売店にお問い合わせ下さい。

品名	仕様・用途
狭幅バケット	幅330 (280) mm 0.030m <sup>3</sup>
4パターンマルチ	クボタ(JIS)と日立・コマツ、三菱、神鋼パターンに切替え
スーパーチェンジ	クボタ(JIS)と日立・コマツパターンに切替え
ブーム高さ制限キット	高さを気にせず作業可能
鉄クローラ	幅250mm、43リンク、シューパット取付ボルト穴アキ
鉄クローラ+ゴムパット	幅250mm、43枚
サービスポート	23L/min 20.6Mpa(210kgf/cm <sup>2</sup> )

※バケット幅〈〉はサイドカッタ含まず ※バケット容量は新JIS山積みで表示

■ 仕様

型式	単位	RX205S	
バケット容量 新JIS山積み	m <sup>3</sup>	0.046	
標準バケット幅(サイドカッタ含む/含まず)	mm	450/400	
機械質量	kg	1,990	
機体質量	kg	1,440	
機体寸法 (輸送時)	全長	mm	3,660
	全高	mm	2,280
	全幅	mm	1,400
	最低地上高	mm	265
エンジン	区分	—	クボタ水冷3気筒立型
	型式	—	D1105-E2-BH-SR-2
	総排気量	L(cc)	1.123(1,123)
	定格出力/回転数*	kW(PS)/rpm	14.2(19.3)/2,200
掘削性能	最大掘削高さ	mm	4,630
	最大ダンプ高さ	mm	3,480
	最大掘削深さ	mm	2,210
	最大垂直掘削深さ	mm	1,630
	最大掘削半径	mm	3,860
	オフセット量(右/左)	mm	465/680
	最小後端旋回半径	mm	700
最大掘削力(爪元)	kN(kgf)	21.2(2,162)	
標準シュー	形式	—	ゴムクローラ
	幅	mm	250
走行部	クローラ全長	mm	1,860
	タンブラ中心距離	mm	1,470
	クローラ中心距離	mm	1,150
	走行速度(1速/2速)	km/h	2.2/4.2
	登坂能力	度	30
旋回速度	rpm	8.9	
ブレード	幅	mm	1,400
	高さ	mm	290
	リフト量(GL上/下)	mm	320/440
油圧ポンプ形式	—	可変容量型ピストン式×2+ギア式×2	
旋回モータ形式	—	オービットモータ	
走行モータ形式	—	ピストンモータ：2F	
燃料タンク容量	L	27.5	
作動油量(全量/タンク内)	L	35/24	

※出力は、JIS B8003準拠グロス値です。

**定期交換部品キット**  
定期的に交換が必要な部品を一つのキットに

フィルタキット

- エンジンオイルフィルタ
- 燃料フィルタ
- エアクリナエレメント
- 油圧フィルタ など

詳しいキット内容は、お近くの営業所にご相談ください。

- ご使用される時は取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 作業の際には必ずシートベルトを着用して下さい。
- 機体質量3t未満の建設機械を運転する場合には、事前に「車両系建設機械運転特別教育」を、3t以上の場合は「車両系建設機械運転技能講習」を必ず受講して下さい。
- 現場を離れるときは、作業機を接地してください。
- 故障や事故を防ぐ為、機械の定期的な点検を必ず行って下さい。
- 特定自主検査は厚生労働大臣又は労働基準監督局長の登録を受けた検査業者で検査を行うよう義務づけられています。
- ブレーカ作業をする時は「車両系建設機械(解体用)運転技能講習」修了証が必要です。

製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。

株式会社クボタ建機ジャパン

ご不明な点がございましたら、クボタホームページをご確認ください。  
<https://kubotakenki.co.jp/office/>



●本カタログに記載されている仕様は予告なく変更させていただくことがあります。



クボタミニバックホー

# RX205s

狭所を味方に、  
多彩な施工に応える



## 安全性を徹底追求

### TOPS対応(シートベルト標準装備)

万一の横転時にオペレータを保護する安全構造を実現。

※TOPS : Tip-Over Protective Structures  
横転時にシートベルトを装着した  
運転者を保護する構造。  
ISO 12117 (JIS A8921) ミニショベル  
横転時保護構造の試験条件に適合



### エンジンニュートラルスタート機能

操作ロックレバーが上がった状態でないとエンジンがかからない、安全に配慮した構造です。



### 盗難防止装置「SSキー」を標準装備

キーに内蔵された情報を本機が認識することで、はじめてエンジンが始動する「SSキー」。キーの抜き忘れ時にはアラーム音でお知らせ、盗難防止機能作動時にはLED点滅による告知機能があります。



### 運転室干渉自動回避システム

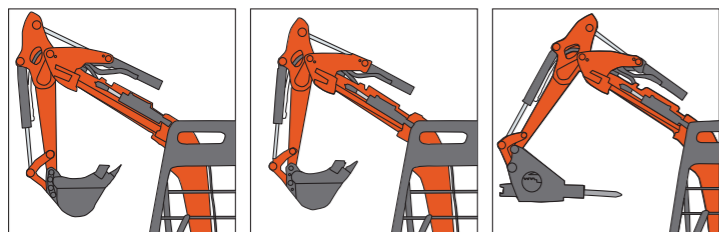
バケットが運転室に衝突しないよう、干渉領域に入る前に、ブームが止まることなく滑らかに運転室を回避します。オペレータはストレスを感じることなく、作業効率もアップします。



## 機能・装備

### アームかき込み制限

アタッチメントに応じて、アームのかき込み位置を標準バケット・ブレード・平爪の3モードに切り替え可能。アームのかき込み量を自動制限し、ブレード装着の場合もブームシリンダの破損を防ぎます。



バケットモード      平爪モード      ブレードモード

### オートアイドル機能

操作レバーを中立に戻すと、4秒後に自動的にエンジン回転数がアイドル状態となり、再び操作レバーを動かすと、すぐに元のエンジン回転数に戻る機能。燃費を向上するとともに、騒音を低減します。

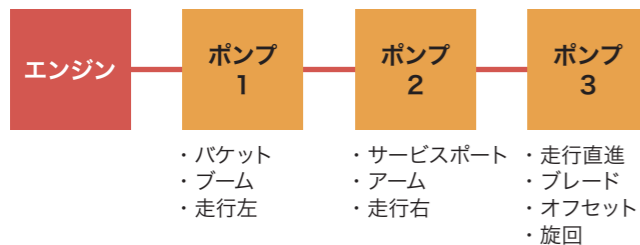
### 信頼のクボタエンジン

100年超の歴史を持つクボタの自社開発エンジンを搭載。クボタの経験と技術が凝縮したエンジンが、現場作業をパワフルに支えます。



### 3ポンプ油圧システム

ブーム・アーム・旋回にそれぞれ独立したポンプを使用する3ポンプシステムを採用し、制御範囲の広いコントロールバルブ、可変容量ポンプを搭載。滑らかに素早く、力強い作業を実現します。



### LED作業灯

作業灯には、長寿命で省エネ性能に優れたLEDライトを採用。



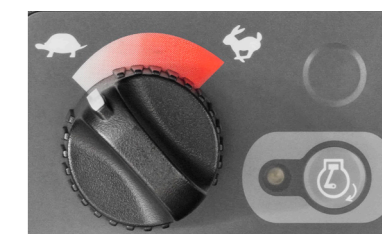
### 横置きデジタルメータ

シンプル表示で見やすいデジタルメータを採用。簡単操作で必要な情報を表示でき、機能ボタンを液晶の下に配置するなど高い操作性を発揮します。



### ダイヤル式アクセル

ダイヤルを回すだけでエンジン回転数が変更可能。細かな調整も容易に行えます。



### オプション

#### 操作パターン切替

2パターン切替と4パターン切替(オプション)が選択可能です。  
※写真は4パターン切替です。



#### サービスポート配管仕様

ブレードや油圧フォークなど様々なアタッチメントに対応可能となります。

#### ブーム高さ制限機能

ブームの最大高さの任意設定が可能です。上部の構造物等を気にせず、安全に作業を行えます。  
※ディーラーオプション

※本ページに記載されているイラストはイメージです。

# メンテナンス

## 工具無しで簡単に開閉できる ダブルオープンボンネットを採用

後部と右サイドのボンネットが大きく開くので、エンジン周りや燃料系の日常点検・整備が容易に行えます。



- A エアクリーナ
- B 燃料フィルタ
- C ウォータセパレータ
- D エンジンオイル給油口
- E エンジンオイルフィルタ
- F バッテリー
- G リザーブタンク
- H 燃料タンク

## 取扱説明書収納部



## 工具入れ



## 分割式ブレードホース



不意の破損の場合も  
ホース交換が  
容易に行えます。

# 移動式クレーン仕様機

法令で定める構造と安全装置の装備はもちろん、油圧の異常低下によるブーム・アーム降下防止装置を装備。クレーンモード時には、エンジン回転数が自動的に吊り作業に適した回転数になります。

※日本クレーン協会が制定した JCA 規格「JCAS2205-98」に適合しています。

吊り荷重  
**0.6t**

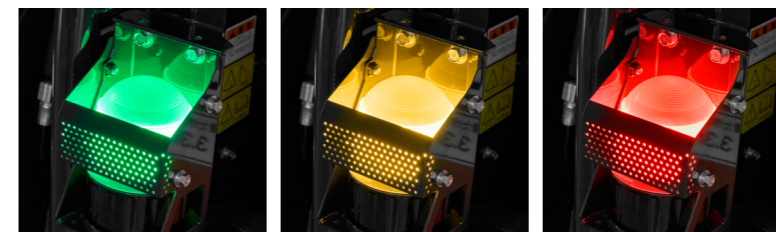
## クレーン+走行モード

クレーンモードで走行時には、自動で走行吊り時定格荷重に切り替わるとともに、走行が1速に固定され、より安全に荷を吊ったまま走行できます。



## 外部表示灯

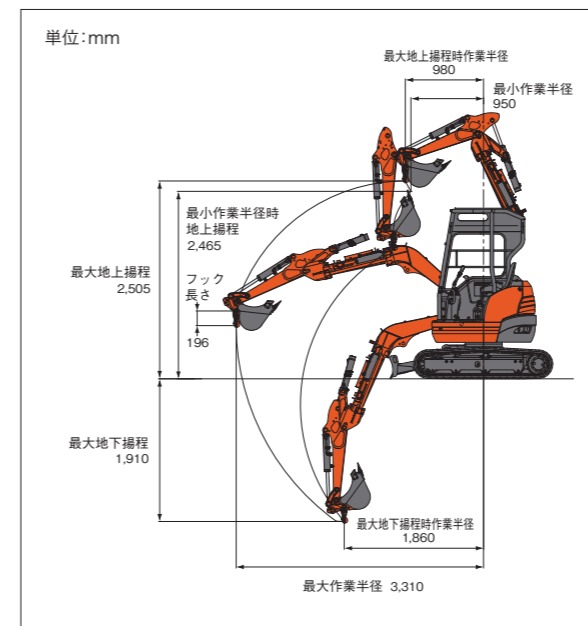
実荷重に応じて色が変わるLED 外部表示灯を装備。



緑色:実荷重が定格荷重の85%未満の場合に点滅  
黄色:実荷重が定格荷重の85%以上95%未満の場合に点滅  
赤色:実荷重が定格荷重の95%以上の場合に点滅



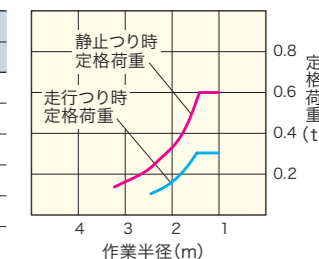
## ■ 作業範囲図



## ■ RX205S

● 定格荷重 標準アーム、0.046m<sup>3</sup>バケット付

作業範囲	定格荷重	
	静止時	走行時
3.3 m	0.15 t	-
3.0 m	0.18 t	-
2.5 m	0.24 t	-
2.3 m	0.28 t	0.14 t
2.0 m	0.34 t	0.17 t
1.5 m	0.54 t	0.27 t
1.4m以下	0.60 t	0.30 t



注1) 静止時時定格荷重は、水平堅土上定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度を満たしています。  
注2) 走行時時、つり荷下面高さは、地上0.3m以下と定められています。  
注3) 実際につり上げられる荷重は、上表の定格荷重から玉掛けロープ重量を差し引いた値です。